

## 義務教育学校のメリットとデメリット

- メリット**
- ①同じ校舎に小学生と中学生がいるため、小学校教育から中学校教育への円滑な移行ができるようになり、卒・入学等の大きな環境の変化による問題を緩和・解消する効果が期待されます。
  - ②9年間の育ちの中で異学年交流等を行うことにより、下級生への思いやり、上級生への憧れの気持ちなどを育み、規範意識や社会性の育成を図ることができます。
  - ③小・中学校教員の相互交流により、教科担任制などの導入も進み、9年間を通して児童・生徒に応じたきめ細やかな指導が可能になります。

- デメリット**
- ①小学校6年生が最高学年としてリーダーシップや自主性を養う機会が減る可能性があります。
  - ②9年間一つの校舎で過ごすため、人間関係の固定化が懸念されます。

## 義務教育学校になると変わることに

これまで



入学 1年 2年 3年 4年 5年 6年 卒業



入学 1年 2年 3年 卒業

義務教育学校  
ができると



新校舎建設

入学 1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 卒業

## 「朝日はひとつ」子育てはみんなの手で

「ふるさと朝日町を想い 自信と誇りに満ち 未来を拓くたくましい人づくり」第2次朝日町教育振興計画に掲げられた基本目標です。この目標を達成するための教育方針第1番目に「家庭・地域・学校が協働し、きらりとひかる学校・地域づくりを推進する」があります。きらりとひかる⇒朝日町らしい⇒朝日町だからできる学校とは、家庭・地域・学校が協働する学校です。

これまで「ふるさと学習」と「英語学習」を2本柱として、保育園から小学校そして中学校まで、子どもの成長と学びが滑らかに接続するように保小中連携・一貫教育の実践を積み上げてきました。これも「朝日町らしい」のひとつです。また、小中学校にコミュニティー・スクールを導入して5年が過ぎました。学校と家庭・地域が課題を共有し、知恵を出し合い、たくさんの地域の方から協力していただいて「きらりとひかる学校」を目指して、より一層力を入れています。

これまで取り組んできた保小中連携・一貫教育の先にある学校が「施設一体型義務教育学校」です。コミュニティー・スクールで培った世代間交流や、地域の人みんなで子どもの教育に関わる体制を朝日町全体に広げていく必要があります。「朝日町らしいきらりとひかる学校・地域」の実現を目指して、町の宝である子どもたちをみんなの手で育てる義務教育学校となることを願っております。

朝日町教育委員会 教育長 堀 俊一

Q. 学校は「ふるさと」の学びの場ですか？

A. 令和10年の開校を目指し、朝日中学校の土地に建設予定です。

このことを新しい学校に引き継いで、ふるさと朝日町を想い社会に貢献できる人材の育成を目指します。

Q. 小学生と中学生が一緒にいる、給食・制服・通学・行事・部活動などはどうなるの？

A. 町民の皆さんの意見をいただきながら、各課題について今後検討する部会を設置して決めていきます。

Q. どうして「義務教育学校」を創設するの？

A. これまでの保小中連携をさらに発展させ、朝日町の特徴を生かした魅力的な学校教育にしたいからです。

今後の学校のあり方を議論するために「あさひまち未来の学校検討委員会」が設置されました。議論の資料にするために保育園と小中学校の全ての保護者、町民の方々へのアンケート

Q. どんな学校になるの？

A. ふるさと朝日町を想い、社会に貢献できる子どもたちを育てる学校を目指します。

これまでも「保小中連携・一貫教育」を進めてきました。特に「ふるさと学習・郷土学習」と「英語学習・国際理解教育」を2本柱として力を入れています。さらにコミュニティー・スクールも5年目を経過し、多くの方々から学校教育活動に関わっていただいています。これまで取り組んできたこれら

Q. 「義務教育学校」って何？

A. 小学校と中学校の義務教育を一貫して行う学校の仕組みです。

義務教育学校とは、平成28年4月から設置可能となった新たな学校の種類です。義務教育9年間を通して、同じ教育方針と目標のもと一貫した教育が実施されます。

トを実施し、答申書（詳細は左記二次元コード）がまとめられました。それを受け、児童・生徒数の推移等を十分考慮し、これまで取り組んできた保小中連携をさらに発展させるための学校として、小学校と中学校が1つになった義務教育学校を創設することになりました。



朝日町立義務教育学校（仮称）の創設に向けて

を目標として

朝日町らしい「きらりとひかる学校・地域」

令和10年開校予定の方針が示された朝日町立義務教育学校（仮称）。義務教育学校ができることによって、これまでどう変わっていくのか、どのような学校を目指すのかを紹介いたします。